

大雪山・旭岳

1. 日程：2026 年 6 月 28 日（日曜日）

2. 参加者： 原田晴(記)、原田尚（記）、大西 3 名

3. コース： ロープウェイ山頂・姿見駅から旭岳往復 （標準タイム上り 2:50 下り 2:05）

姿見駅 6:40⇒(0:20)姿見の池 7:00⇒(2:30)8:55 旭岳山頂 9:00⇒(1:50)10:10 姿見の池 10:25
⇒(0:15)10:40 姿見駅

4. 山行報告

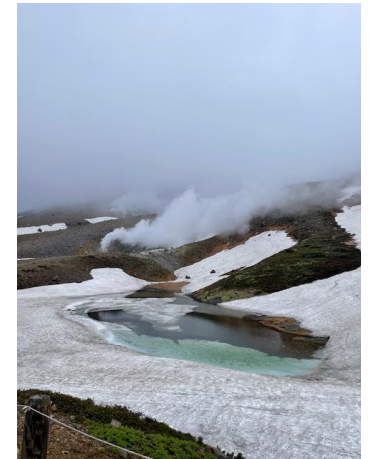
当初は十勝岳に登る計画だったが、数日前に危険レベルが2に上がったため、急遽旭岳に変更した。新千歳空港からレンタカーで旭岳温泉までのドライブでケイズハウ



ス北海道に前泊する。チェックイン時に旭川から移動の大西さんと合流する。ここは素泊りだったが、電子レンジやキッチンセット、無料の飲料や朝食など完備されており清潔感もあってお勧めだ。なによりも温泉が素晴らしく、夜、真夜中、朝の三回入浴したが、露天風呂は外の森との仕切りが全くなかったのが、熊を気にして深夜では内風呂だけで我慢した。



ロープウェイは6時半から運転するため、予定より早めて6時過ぎに宿舎を出発する。始発のロープウェイに乗れた。山頂の姿見駅からの旭岳は視界不良で頂上は全く見えない。歩き出すとキバナ石楠花が盛りに咲いている。登山路には両側に緑色のロープが張ってあったので、迷うことなく進むことが出来た。姿見の池から上って行くと次第に風が強くなってきたので、ダウンと雨具を着こんで先に進む。ネックウォーマーを忘れたことを悔やむ。やっとの思いで頂上に到着したが、あいかわらず視界不良で小雨も降り出して来たので写真を取り終えたらすぐに下山した。今回は複数の外国人のグループがいたが、薄着で上るものもあり、なかには山頂に行こうか、どうしようかと躊躇しているものもいた。池近くの石室に近づいた頃には風も収まり霧も開けてきた。左側にはゼブラ模様の雪渓が素晴らしい。池はドラゴンアイに似ていて神秘的だ。この周辺は天気良ければ絶好の撮影ポイントだ。姿見の池からロープウェイ駅へ帰る途中から雨が強く降り出したので急いで駅に戻る。今晚の宿は札幌市内なので、下山後速やかに移動する。山麓は好天だったが、札幌へ向かう高速道路では雨が降ってきたり、晴れてみたりとの繰り返しで不安定な一日だった。



（写真）大西さん提供 上：ショウジョウバカマとキバナ石楠花、
右中：姿見の池、左下：旭岳山頂



以上

2026 年 7 月 6 日記

6 月 30 日火曜日・羊蹄山日帰り登山の報告

- ① 参加・原田（晴）、原田（尚）、大西、吉江、吉川
- ② コース・倶知安（ヒラフ）ルート・お鉢巡り
- ③ 歩行時間（登り 5 時間強・下り 4 時間、往復 11K 強・とお鉢巡り小 1 時間程）参考程度です（総歩行距離は 12.5K 位・3 万 3 千歩位か）
- ④ 入山・午前 6 時 35 分、下山・午後 18 時 25 分
- ⑤ 以下報告

事の発端は真冬の奥多摩クライミング講習で話題に上がり、毎年雪が消えてから（頻繁に帰省する札幌）嘗て小樽や蘭越のクライミングの合間に通ったニセコに（ドピーカンの頂上&絶景の雲海とお花）をテーマに（羊蹄山）の計画を練ったのでした。

自分は 25 日午後札幌入り、所用をこなしながら（一夜漬けですが、三角山 2 回&藻岩北の沢 1 回、クライミングジム 2 時間）と悪足掻きをして 29 日に雪稜の先輩達を札幌に迎えたのでした。（勿論実家で睡眠たっぷり）

（前泊の倶知安第一会館さんは札幌から比較的近く、ヒラフ登山口も至近です）

30 日の早朝は霧シヨン後曇り、歩き始めの森の中は幻想的でした。（入山口には先客車 10 台程か？）

登りはほぼ直登な感じ、（先頭の大西さんの好リード）で 5 合目辺りまでは順調に（既に 2 時間以上歩いていましたが）着実に歩を進め、対面のニセコアンヌプリが望める 6 合目以降（少しずつ脚は重たくなりましたが）素晴らしい雲海と可憐なお花達が応援と後押しをしてくれました。（大西さんの着実なペースで）9 合目には正午過ぎた頃か？（歩行時間は優に 4 時間は超えていました）此处で大休止を取りました。

これからの（トイレに寄った避難小屋経由）頂上（1898M・喜茂別ピーク）迄が今コースの白眉にて（360 度の眺望）（遠くに連なる峰）（または雷電海岸や積丹半島）絶景に驚きながら上がらなくなった脚を進め、岩の間をすり抜けて（14 時過ぎに）頂上に着いたのでした。

どうやら半時計廻りにお鉢巡り 9 号目まで（北山経由）が下りでペースも付け易く、**復路**は快適な散策から。

しかし 9 合目からは又直滑降な感じ（甲斐駒、今回の旭岳連戦のお三方）はまだまだ元気な様子。見習いたいな。（自分は）（40 代後半の利尻や、若い頃のアルパインクライミング以来？）の 10 時間越えの行動。転ばないように慎重に下山の歩を進めました。夏山と言っても早出は（5 時台から）の出発がベターですね。

脚は重く、空腹ですが心はこの上なく満たされました。

雪稜の先輩の皆様素敵な一日をありがとうございました。

（歩行時間推定 10 時間 20 分）（休憩時間推定 1 時間 40 分）（写真は別紙に）

札幌に着いたのは 22 時を越した頃。

雪稜会会員の皆様へ

☆後志羊蹄山・6月30日火曜日、倶知安ルートの報告 山行写真

記	吉川 浩
TEL	090-7413-8290

1	行動記録	入山・午前6時35分 ～ 下山・午後18時25分
2	参加者	原田（晴）・原田（尚）・大西・吉江・吉川
3	山行写真	記・吉川

